

# 総務部経営方針（令和２年度）

（６月１日時点）

総務部長  
危機管理担当部長

小林 明信  
大貫 貞夫

## ◆部長職からひとこと

総務部長 小林 明信



行革プラン2019，第2期調布市人材育成基本方針実行プラン（後期）及び調布市職員ワーク・ライフ・バランス推進プランに位置付けた各種取組を着実に推進していきます。

また，新型コロナウイルス感染症対策の一環としての特別定額給付金の支給，国勢調査の円滑な実施，職員の政策法務能力の向上の取組，免震改修後の市庁舎長寿命化と狭あい化対策などの課題に，庁内各部と連携を図りながら取り組んで参ります。

危機管理担当部長 大貫 貞夫



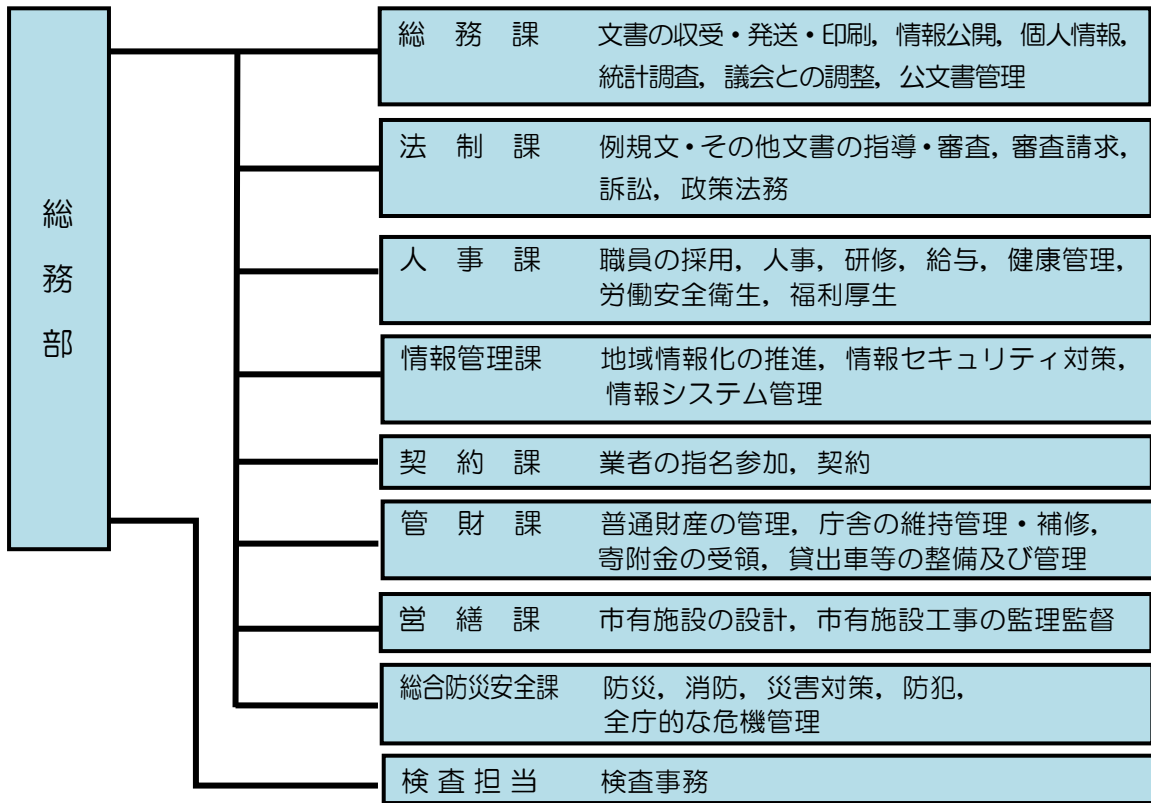
令和2年度は令和元年台風19号の課題と教訓を踏まえ，風水害への対応能力の向上，職員の防災対応能力充実のための実践的訓練，防災行政無線のデジタル化や消防団の活動能力向上のためのポンプ車の更新などを通じて，防災力の向上に努めます。

新型コロナウイルス感染症対策としては，避難所開設に備えて引き続き備蓄品の確保を図るとともに訓練を通じて適切な対応を講じて参ります。

また，地域防犯力の充実に向けた支援を継続するとともに，調布警察署や関係機関と連携した各種犯罪抑止活動により安全と安心の確保に取り組んで参ります。

◆職員数	正規職員108人（うち管理職17人）	再任用職員3人（管理職含む）
◆予算（当初）		
一般会計	歳入 2億28万1000円	歳出 68億4611万円 （職員人件費を除く）
◆予算（第1号補正）		
一般会計	歳入 2億2600万円	歳出 2億2600万円 （職員人件費を除く）
◆予算（第2号補正）		
一般会計	歳入 237億7000万円	歳出 237億7000万円 （職員人件費を除く）

◆組織体系図



## ◆総務部の現状と課題

### ・適正な公文書管理の推進

研修や職員説明会等を通じて、文書の作成から廃棄までの適正管理が全庁的に浸透するよう、関係課と協力した取組の継続が必要です。

### ・統計調査の実施

令和2年国勢調査の実施に向け、多くの調査員の確保が必要です。また、わかりやすく丁寧な対応により、円滑で正確な調査を行う必要があります。

### ・人材の確保・育成

多様化・複雑化する市民ニーズや様々な法改正，社会環境や職員構成の変化への対応を図るため，専門性を有する人材の確保・育成に加え，管理職や若手職員の早期育成が課題となっています。また，今年度から導入している会計年度任用職員制度を適切に運用するほか，職務に対する意欲を高める仕組みづくりが必要です。

さらに，女性職員の活躍推進も念頭に置き，働き方の見直しとワーク・ライフ・バランスの実現が図れ，全ての職員が能力を十分に発揮できる職場づくりを進める必要があります。

### ・市民参加と多様な主体との連携・協働の推進

市民が主体の様々な地域の情報発信等において，多様な主体との連携を図る必要があります。

### ・情報システムの総合的かつ計画的な管理の推進

効率的な市民サービスの提供や業務の実施においては，情報セキュリティを踏まえ，情報システムや庁内ネットワークの構築検討に努める必要があります。また災害対応をはじめ，リスク管理に向けた取組の検討が求められています。

### ・入札の不調・中止への対策

公共工事等において，技術者や作業員の不足や資材価格の上昇等を背景に，減少傾向にあるものの入札が不調・中止となり，契約できない状況が発生しています。公共工事等を計画的に実施していくため，入札の不調・中止への対策として，引き続き，予定価格の適正な設定や施工時期等の平準化など関係部署と連携して取り組むことが必要です。

### ・普通財産の維持管理及び有効活用

普通財産の維持管理には，個別の特性に応じた維持管理及び利活用が求められています。

### ・市庁舎の長寿命化等と将来的な更新の検討

#### 市庁舎免震改修事業

喫緊の課題である市庁舎の耐震性の確保に向け，市庁舎免震改修工事を実施しており，令和2年6月完了を予定しています。

#### 市庁舎長寿命化等の視点を踏まえた維持保全の検討，実施

市庁舎の維持保全については，令和2年度に策定予定の（仮称）公共施設マネジメント計画に反映するよう準備を進めているところです。免震化による耐震性の確保の後，今後一定期間使用していくことを前提とした適正な維持保全を実施していく必要があります。

また，市庁舎狭あい化対策については，令和元年度から検討を進めており，免震改修工事の中で先行して実施した1階部分のレイアウト変更に引き続き，2階より上階のレイアウト変更に向けた準備を進めています。実施に当たっては，関係各課の所管事業等を考慮のうえ，市民等への影響がないよう進めていくことが課題となっています。

#### 市庁舎更新に関する方向性の検討

市庁舎更新の検討については，令和4年度の市庁舎更新に関する基金条例制定に向け，市庁舎更新に関する方向性の検討を進めているところです。現時点での最有力地である現在の市庁舎敷地における整備手法等の整理が課題となっています。

#### ・庁用車の安全運転・事故防止対策の取組

庁用車の事故防止については、安全運転意識向上の取組として、複数乗車の呼びかけ、同乗者による安全確認の徹底の推進及び車両保有課でのアルコールチェッカー運用を実施するとともに、運転技術向上の取組として警視庁交通安全教育センターが実施する四輪安全運転教室への職員の派遣を実施しています。また、令和元年度には庁用車全台にドライブレコーダーを設置し、安全装備の充実を図りました。これらの取組により、近年の事故件数は減少傾向にありますが、さらなる事故削減のため、運転手と同乗者の安全運転意識向上が課題となっています。

#### ・公共施設の維持保全の取組

公共建築物について、適切な維持・保全を図るため、調布市公共建築物維持保全計画に基づき計画的に改修等を行っています。また、改修等の際に、その他の不具合等についても、可能な限り併せて対応を図るなど、効率的な予算の執行に努めています。

#### ・市民の安全・安心の確保に向けた取組

全国的な豪雨や台風等、風水害の多発や令和元年台風19号の課題と教訓を踏まえ、迅速な対応を実施するため、地域防災計画に基づく水防活動について、震災対策と同様に体制を強化する必要があります。

東京消防庁への事務委託による安定した消防力の維持をはじめ、地域防災の要となる消防団の火災対応能力の向上及び消防水利の充実を引き続き図って行く必要があります。

市内で多発する特殊詐欺や身近な犯罪被害の防止に向け関係機関や地域団体と連携した効果的な取組が求められています。

### ◆総務部経営方針

#### 1 行革プラン2019に位置付けた各プランの着実な推進

##### ・積極的な市政情報の提供

市が保有する様々な分野のデータについて、統一的なルールに基づき、二次利用しやすい形式（オープンデータ）での公開を推進します。

##### ・適正な公文書管理の推進

現用文書から非現用文書（歴史資料）まで一貫した管理体制の整備に引き続き取り組みます。また、非現用文書については、収集、整理、保存に引き続き取り組むとともに、修復し、デジタル化した文書を公文書資料室に設置している端末で順次公開します。

##### ・政策法務能力の向上

任期付法務専門職を活用した政策法務に関する研修、各職層を対象とした研修、政策法務能力向上に資する情報の発信等を継続的に実施することにより、職員の基礎的な法務能力の底上げを図るとともに、より政策法務の知識が実務で活用できるよう、職員の政策法務能力の向上に取り組みます。

##### ・業務上のリスクへの対応

行政事務における法的な責任や不利益、紛争事案等の発生を予防または抑制するため、任期付法務専門職による行政実務法律相談事業（通称：法務ドクター事業）などを実施し、予防法務として行政事務執行上の法的リスクを把握し、事務を所管する課の対応を、法的に積極的にサポートします。

##### ・人材の確保・育成

第2期調布市人材育成基本方針実行プラン（後期）に基づき、専門性を有する人材の確保とともに、各種研修の推進のほか、人事評価制度や昇任試験制度の適正な運用と改善などを通じて、職務に対する職員の意欲ややりがいの向上につなげます。また、女性職員の活躍推進も念頭に置き、職員の意識・働き方改革を進めます。

### ・多様な契約手法の検討・活用及び契約事務の適正性の確保

プロポーザル方式，包括委託，物品における制限付き一般競争入札など多様な契約手法について，他自治体の運用事例等を参考としながら，見直しや活用について検討を進めます。また，契約及び検査事務推進連絡会等を活用して，引き続き職員の契約事務に対する能力の向上に努めます。

### ・普通財産の有効活用・処分

調布市が保有する普通財産（土地）について，適切な日常管理を行う中で，有償による貸付けや行政財産としての活用を推進するほか，必要に応じて売却を行うことで，歳入の確保に努めます。

### ・市庁舎の長寿命化等と将来的な更新の検討

市庁舎の耐震性の確保に向けた免震改修事業を着実に推進します。また，市庁舎狭あい化対策に向けたレイアウト変更（以下「市庁舎レイアウト変更」）を実施するとともに，市庁舎の長寿命化等の視点から，現状や課題を踏まえた維持保全について，（仮称）公共施設マネジメント計画への反映を行って参ります。

市庁舎の将来的な更新の検討については，令和元年度に引き続き市庁舎更新に関する方向性の検討に取り組んで参ります。

### ・公共建築物の計画的な維持保全の推進

公共建築物について，適切な維持・保全を図るため，調布市公共建築物維持保全計画に基づき，計画的に改修等を行うとともに，定期点検の結果や，施設管理所管部署で把握している不具合等についても，併せて対応を図るなど，計画的かつ効率的に改修等を行います。

## 2 令和2年度における重要課題への対応

### ・庁用車両の安全対策

交通安全教育センターで行われる安全運転講習に参加するほか，自動ブレーキ等安全運転装置装着車を貸出用車両として導入します。

## 3 安全・安心のまちづくり

令和元年台風19号を受けて，災害対策の充実・強化を図るため，地域防災計画を修正します。また，防災・安全情報メールシステム等の情報提供手段の周知等を実施します。「自助」「共助」の取組の促進に向け地域訓練への協力や防災に関する出前講座等の実施，防災備蓄品の提供などによる支援を行い，地域に根差した防災活動の主体となる防災市民組織の新規結成や育成を図ります。

犯罪のない安心して暮らせるまちづくりに向けては，各種犯罪被害を未然に防止するため警察等関係機関と連携し，取組を進めます。

## ◆総務部の横断的連携による施策の推進

### 1 台風第19号への対応を踏まえた災害対応

被災者が各種救済制度を速やかに活用できるよう，所管課と連携し，積極的な支援を行って参ります。

また，情報発信の要である市ホームページについて，技術面から支援し，災害時の市民の安全・安心の確保に努めます。

令和元年台風19号の課題と教訓を踏まえ，災害対策の充実・強化を図るため，市民，自治会，防災関係機関及び庁内各課の意見等を勘案し，調布市防災対策検討委員会での議論や訓練等を通して，災害時の対応強化を推進します。

避難所を開設する場合には，密集した空間の中での集団生活等により，新型コロナウイルスをはじめとする感染症のリスクが高まる危険性があることから，その防止対策に万全を期することが重要となります。そのため，本年5月に「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応」を取りまとめました。併せて，避難所担当職員を対象に避難所の運営訓練を実施し，

円滑な避難所運営を図っていきます。

## 2 東京2020大会の開催延期に伴う対応（パラハートちょうふ関連を含む）

これまでのオリンピック・パラリンピックにおいて、会場市に対するサイバー攻撃が確認されており、国や都、関係自治体、庁内関連部署と連携し、円滑な大会運営を支援します。

## 3 新型コロナウイルス感染症対策に関する対応

新型コロナウイルス感染症に係る影響を受ける方々に対して、国や東京都が行う各種支援策はもとより、市独自の取組において、各種支援策が速やかに利用できるよう、法令等の改正について、迅速な対応に努めます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関する職員への注意喚起、在宅勤務型テレワークの拡充等を行うほか、感染症対策を担当する職員の人事配置などに対応していきます。

調布市情報セキュリティポリシーに基づき、職員のセキュリティの意識の向上に努めながら、関係各部署の情報システム環境を支援していきます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、受注者から申出がある場合において、工事又は業務の一時中止や設計図書等の変更による契約変更手続及び繰越等の手続について、施設所管課や財政課と連携し適切に対応していきます。

「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」が4月20日に閣議決定され、感染拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ確実に家計への支援を行うため、特別定額給付金事業が実施されることになりました。調布市においても事業化を行うとともに、特別定額給付金に関する調布市独自のコールセンターを設置し、市民生活における不安解消に努めています。

## 4 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境整備

時間外勤務の縮減及び定時退庁や年次有給休暇の取得等を推進するため、事務の簡素化・効率化を推進する部署と連携し、業務量の増加への対応や職員の業務改善スキルの向上等を図り、全ての職員が能力を十分に発揮できるよう取り組んで参ります。また、関係部署と連携し、在宅勤務型テレワークの拡充に向けた検討を進めます。

## 5 公共建築物の計画的・効率的な維持保全の推進

維持保全担当者連絡会の開催や、庁内LANの活用などで、施設管理所管部署の維持保全担当者との連携を強化するとともに、営繕課発行の庁内報により、維持保全に関する情報の周知を図るなど、より計画的・効率的な維持保全を推進していきます。

## 6 情報システムの総合的かつ計画的な管理の推進

非常時における市民サービスの提供や業務の実施にも対応できる効率的な情報システムや庁内ネットワークの構築検討に努めていきます。

## 7 マイナンバー関連システムの運用

コンビニ交付システムについて、令和2年度から新たに納税証明書の交付を開始し、継続して安定的な運用を行います。

## 8 調布市地域防災計画に基づく体制整備

国や東京都の計画修正や防災関係機関の意見等を踏まえ、調布市防災会議にて検討した修正内容を調布市地域防災計画に反映させ、庁内各課との連携をさらに深めて参ります。

### ◆各課の基本的な目標・方針等

#### 総務課

##### ・適正な公文書管理の推進

歴史資料の修復・撮影・デジタル化など、公開資料の充実を重点目標とし、保存資料に優先順位をつけるなど、公文書の適正な管理・保存・公開を進めます。

##### ・統計調査の円滑な実施

国勢調査実施に当たっては、インターネットを活用した回答を促進し、円滑で正確な実施に

努めます。

・ **特別定額給付金の支給**

特別定額給付金の迅速かつ的確な支給に努めます。

**検査担当**

・ **工事成績評定結果の公表**

調布市優秀工事表彰要綱に基づく優秀工事表彰の公表に加え、優秀工事には至らない評定点75点以上の工事についても、調布市請負工事成績評定要綱に基づき、工事受注者の技術力の向上や意欲喚起をより一層図るため、優良工事として位置付け、公表します。

**法制課**

・ **職員の政策法務能力向上の取組**

「職員の政策法務能力向上の取組」については、任期付法務専門職を中心として、令和元年度から令和4年度までを計画期間とする新たな取組計画に基づき、主に研修と法律相談を二大柱として次の取組を実施します。

- ①各種研修（政策法務能力向上研修、職層研修、条例等立案研修等）
- ②職員を対象とした法律相談（通称：法務ドクター相談）
- ③法務に関するニュースレターの発行
- ④法令等に関する情報発信

中でも、①各種研修については、従来の取組に改善を加えるほか、より多くの職員に法務に触れる機会を創出する観点から、人事課と連携した研修プログラムの検討など、研修構成の拡充を図ります。

・ **2つの行政救済制度の適正な運営**

行政不服審査制度と固定資産評価審査委員会制度という2つの行政救済制度の所管部署として、引き続き、両制度の適正な運営に努めます。

**人事課**

令和2年度は、第2期調布市人材育成基本方針実行プラン（後期）及び調布市職員ワーク・ライフ・バランス推進プラン―特定事業主行動計画（第七次行動計画）―の2年目として、目標達成に向けた以下の各種取組を進めます。

・ **人材の確保とやりがいや意欲を高める仕組みづくり**

採用案内などを通して、市役所の業務の魅力を積極的にPRすることで市政を担う人材の確保につなげるほか、人事評価制度や昇任試験制度の適正な運用と改善、職務・職責を適切に反映させる給与制度の運用などを通じて、職務に対する職員の意欲ややりがいの向上につなげます。また、今年度から導入している会計年度任用職員制度を適切に運用していきます。

・ **人材育成基本方針に基づく研修の推進**

第2期調布市人材育成基本方針実行プラン（後期）に基づく各種研修やOJTの推進のほか、自己研鑽意欲を促進し、職員の職務に対する意欲や能力の向上を図ります。

・ **ワーク・ライフ・バランスの実現と誰もが活躍できる職場環境づくりの推進**

「調布市職員ワーク・ライフ・バランス推進プラン―特定事業主行動計画（第七次行動計画）―」や令和元年度策定の「調布市職員の意識改革・働き方改革推進に関する方針」に基づき、時間外勤務縮減及び定時退庁の推進に向けた取組や変則勤務や在宅勤務型テレワークの活用による多様な働き方を推進します。

また、女性職員のキャリア形成支援に取り組むとともに、安心して働き続けられるようメンタルヘルス対策やハラスメント防止などに取り組み、誰もが活躍できる職場環境づくりを進めます。

## 情報管理課

### ・地域情報化の推進

市民が必要とする地域情報が必要な人にわかりやすく届けられる環境づくりをめざし、市民等多様な主体との連携を図ります。

### ・情報システムの総合的かつ計画的な管理の推進

税総合オンラインシステムの更新実績を踏まえ、基幹システムの計画的な更新に向けた取組を実施します。また、基幹システムと庁内ネットワークが一体となった管理を推進します。

### ・情報セキュリティ対策等の充実

情報セキュリティ内部監査や、全職員を対象とした情報セキュリティ研修の充実等、セキュリティ面での取組を実施します。

## 契約課

### ・多様な契約手法の検討・活用及び契約事務の適正性の確保

プロポーザル方式の手法について、個別の業務内容に応じた活用しやすい手法となるよう見直し検討を進めるとともに、他自治体の取組事例を参考としながら包括委託や物品における制限付き一般競争入札など多様な契約手法について調査していきます。また、契約及び検査事務推進連絡会等を通じ、契約事務の適正性及び効率性の確保を図っていきます。

### ・入札の不調・中止への対策

令和元年度においても減少傾向にあるものの、工事請負契約において入札の不調・中止が発生したことから、予定価格の適正な設定をはじめ、施工時期等の平準化など関係部署と連携して取り組むとともに、同時期に発注する同種工事の開札日程を調整する等の対応を進めます。

## 管財課

### ・普通財産の有効活用・処分

普通財産の貸付等を行い、有効活用を図るとともに、売却可能な普通財産については処分の検討を進めます。また、管理については固有の特性に合わせ、適正な管理を行います。

### ・市庁舎の長寿命化等と将来的な更新の検討

#### (1) 市庁舎免震改修事業の着実な推進

市庁舎免震改修工事の適切な事業進捗を図り、令和2年6月事業完了を目指します。

#### (2) 市庁舎長寿命化等の視点を踏まえた維持保全の検討、実施

公共建築物維持保全一覧に基づく維持保全の実施をはじめ、市庁舎レイアウト変更を実施して参ります。

また、今後の適正な維持保全に向けて、市庁舎長期修繕計画を作成し（仮称）公共施設マネジメント計画に反映して参ります。

#### (3) 市庁舎更新に関する方向性の検討

基金条例制定に向けた財源確保方策の検討に必要となる市庁舎更新に要する費用等を算出するため、想定される建物等について検討を進めて参ります。

### ・庁用車の安全対策

令和元年度に発生した事故は、いずれも単独の接触事故となっておりますが、不注意に起因する事故もあることから、運転手本人と同乗者の安全運転意識向上を目的に、これまでの取組を推進します。さらなる安全運転意識の向上を目的に、外部講師を招き職員向け講習会を実施します。

## 営繕課

### ・公共建築物の維持保全等の取組

基本計画及び調布市公共建築物維持保全計画に基づき、改修工事等の設計及び工事監理を行います。改修工事等の際には、定期点検の結果や施設管理所管部署で把握している不具合などにも対応するなど、適切かつ効率的な予算の執行に努めます。



調布市公共建築物維持保全事務取扱規程に基づく、維持保全担当者連絡会の開催等により、施設管理所管部署との連携の強化と、維持保全に関する情報の周知を図ります。

非構造部材の耐震化については、改修工事に併せて実施するなど、取組を進めて参ります。

公共施設マネジメント担当と連携し、今年度策定予定の(仮称)公共施設マネジメント計画に、調布市公共建築物維持保全計画を統合します。

・環境に対する配慮

調布市公共工事環境配慮指針に基づくほか、計画、設計及び工事監理の各段階で省エネルギー及び省資源対策等の環境負荷低減に取り組みます。また、省エネルギー及び省資源対策等の新技術に対する情報収集に努めます。

・シックハウス症候群対策及びアスベスト対策

引き続き、調布市公共施設等シックハウス対策マニュアルや大気汚染防止法等に基づき、使用する資材の選定に配慮するとともに、施工時においても換気を十分に行うなどの対策を講じて参ります。

総合防災安全課

・調布市地域防災計画の修正に基づく体制整備

国や東京都の計画修正や令和元年台風19号の課題と教訓を踏まえ、調布市地域防災計画を修正するとともに、調布市防災対策検討委員会において、防災対策を推進するうえで庁内各部が連携・協力して実施する施策について検討し、体制を整備します。

・地域防災体制の充実

防災における自助・共助・公助という基本的な考えのもと、地域防災体制の充実を図ります。

・危機管理体制の強化

危機連絡会議における庁内の情報共有や、災害時事業継続計画(BCP)の検証・実践、災害対策本部図上訓練、シェイクアウト訓練等の実施により、危機管理体制の強化を図ります。

・消防力の強化

東京消防庁との連携による対応力の確保、消防団の火災対応能力の向上を図り、消防力を強化します。

・防犯対策の推進

市民が安心して暮らせる安全な地域社会の実現に向け、警察署や関係団体と連携して特殊詐欺をはじめとする各種防犯対策を推進します。

◆主要な事務事業と到達目標

事業の名称と概要	年度末到達目標
<p>1 適正な公文書管理の推進(総務課)</p> <p>事業予算: 209万円 &lt;基本計画事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行革P</span> その他&gt;</p> <p>(1) 文書管理システムの安定的な運用が確保されるよう取り組むとともに、積極的なシステムの活用を促進し、電子化率の向上、ペーパーレス化に取り組みます。</p> <p>(2) 歴史資料の修復、撮影、デジタル化を推進し、公開資料の充実を図ります。</p>	<p>・文書管理システムの安定的な運用</p> <p>・歴史資料の修復、撮影、デジタル化、公開資料の充実</p>
<p>2 特別定額給付金の支給(総務課)</p> <p>事業予算: 239億9600万円&lt;基本計画事業 行革P <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">その他</span>&gt;</p> <p>「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」の閣議決定を受け事業化された特別定額給付金事業について、迅速かつ的確な支給を行います。</p>	<p>・対象者への対象者への迅速かつ的確な支給(対象者数23万7700人)</p>

<p>3 人材の確保・育成と意欲の向上（人事課）</p> <p>事業予算：2931万4000円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>(1) 人材の確保とやりがいや意欲を高める仕組みづくり</p> <p>ア 市政を担う人材を確保します。</p> <p>イ 専門分野における人材の活用を推進・検討します。</p> <p>ウ 会計年度任用職員制度を適切に運用します。</p> <p>エ 人事・給与制度の適切な運用と見直しに取り組みます。</p> <p>(2) 人材育成基本方針に基づく研修の推進</p> <p>ア 第2期調布市人材育成基本方針に基づく各種研修を推進します。</p> <p>イ 各職場におけるOJTを推進します。</p> <p>ウ 自己研鑽意欲を促進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市業務等のPRを通じた人材の確保</li> <li>・特定任期付職員等の継続的任用</li> <li>・会計年度任用職員制度の適切な運用</li> <li>・人事・給与制度の適切な運用・改善</li> <li>・方針に基づく各種研修の推進</li> <li>・職場内研修（OJT）の推進</li> <li>・自己研鑽意欲の向上</li> </ul>
<p>4 誰もが活躍できる職場環境づくり（人事課）</p> <p>事業予算：1847万2000円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>(1) ワーク・ライフ・バランスの実現と誰もが活躍できる職場環境づくりの推進</p> <p>ア 多様な働き方(変則勤務や在宅勤務型テレワーク)を推進します。</p> <p>イ 時間外勤務縮減及び定時退庁を推進します。</p> <p>ウ 女性職員の活躍推進に関する取組を推進します。</p> <p>エ 安心して働き続けられる職場環境づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休業代替任期付職員の採用等の継続，職場復帰（プレワーキングママ）セミナー，女性の健康管理セミナーの実施</li> <li>・ハラスメント防止に向けた取組の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変則勤務やテレワーク等の多様な働き方の推進</li> <li>・時間外勤務縮減及び定時退庁の推進</li> <li>・女性職員の活躍推進</li> <li>・育児休業代替任期付職員の確保，ハラスメント防止対策の実施</li> </ul>
<p>5 マイナンバー関連システムの運用（情報管理課）</p> <p>事業予算：6358万3000円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>行政機関間における情報連携について，継続して安定的な運用を行うとともに，令和2年度の情報連携に関する改正に伴う一部業務システムの改修を行います。また，コンビニ交付システムについて，令和2年度から新たに納税証明書の交付を開始し，継続して安定的な運用を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバー関連システムの安定的運用</li> </ul>
<p>6 自治体情報セキュリティ向上プラットフォーム等の活用（情報管理課）</p> <p>事業予算：1011万1000円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>東京2020大会を控え，インターネット接続のセキュリティ対策が必要なため，国の情報セキュリティプラットフォームや東京都セキュリティクラウドを活用したインターネット接続環境を安定的に運用します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット接続環境の安定的な運用</li> </ul>

<p>7 多様な契約手法の検討・活用及び入札の不調・中止への対策（契約課） 事業予算：33万4000円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>(1) 行革プラン2019に基づく多様な契約手法の検討・活用，物品における制限付き一般競争入札の試行実施</p> <p>(2) 入札・契約制度の適正な運営維持，向上のための取組</p> <p>(3) 主管課契約における契約事務の適正性及び効率性の確保を図るための取組</p> <p>(4) 公契約条例の情報の収集・検討</p> <p>(5) 入札の不調・中止への対策，市内建設業団体及び商工会との意見交換会の実施，施工時期等平準化への取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロポーザル方式の見直しや物品における制限付き一般競争入札の導入に向けた取組を進めます。また，包括委託について，他自治体の視察を行い，課題等の整理を行います。</li> <li>・入札・契約制度の公平性及び透明性の確保並びに競争性を図るため，入札等監視委員会において審査を受けていきます。</li> <li>・関係部署と連携を図り，契約及び検査事務推進連絡会等を活用していきます。</li> <li>・制定済み自治体の運用状況等を調査するとともに，国の動向を注視していきます。</li> <li>・他の自治体の入札状況を把握するとともに，引き続き関係部署と連携を図り，適正に対応していきます。また，令和元年度に実施した国土交通省支援事業を踏まえて施工時期等の平準化に向けた取組を進めます。</li> </ul>
<p>8 普通財産の有効活用・処分（管財課） 事業予算：105万8000円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>(1) 普通財産の貸付等を行い，有効活用を図るとともに，売払い可能な普通財産については，処分を検討します。</p> <p>(2) 普通財産の管理については，固有の特性に合わせ，適正な管理を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通財産の有償貸付等を行うことで有効活用を図ります。</li> <li>・普通財産の適正管理を図ります。</li> </ul>
<p>9 市庁舎の長寿命化等と将来的な更新の検討（管財課）</p> <p>(1) 市庁舎免震改修工事の実施 事業予算：11億731万円&lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>令和2年6月の工事完了に向けて適正な工程管理を実施し，安全，安心な施工実施に努めていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市庁舎免震改修工事の実施 (完了予定 令和2年6月)</li> </ul>

<p>(2) 市庁舎の長寿命化等の視点を踏まえた維持保全の検討、実施 事業予算：3493万7000円&lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>ア 基本計画公共建築物維持保全等一覧に基づく維持保全工事等を実施して参ります。</p> <p>イ 市庁舎レイアウト変更を実施して参ります。</p> <p>ウ 市庁舎の長期修繕計画を作成し、(仮称)公共施設マネジメント計画に反映して参ります。</p> <p>(3) 市庁舎更新に関する方向性の検討 事業予算：0円&lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>現在の市庁舎敷地における建替え手法並びに、規模、用途、複合化等を含め、想定される新庁舎の検討を進めて参ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共建築物維持保全等一覧に基づく維持保全工事等の実施 (市庁舎放送設備更新工事(繰越)、立体駐車場機械部品(水受け板、樋ほか)更新委託)</li> <li>・市庁舎レイアウト変更実施 (市庁舎内装改修工事(床、階段リニューアル含む))</li> <li>・市庁舎長期修繕計画作成</li> </ul> <p>・市庁舎更新に関する方向性の検討</p>
<p>10 庁用車の安全対策(管財課) 事業予算：523万8000円 &lt;基本計画事業 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>(1) 職員の安全運転意識向上のため外部講師を招き、講習会を実施します。</p> <p>(2) 職員の事故防止を目的に安全運転機器設置車両を貸出用車両に導入します。</p> <p>(3) 職員の安全運転技術の向上のため、警視庁交通安全教育センターが実施する四輪安全運転教室に職員を派遣します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の安全運転意識の向上</li> <li>・自動ブレーキ等安全運転装置装着車の導入</li> <li>・四輪安全運転教室への職員派遣</li> </ul>
<p>11 公共施設マネジメントの推進(営繕課) 事業予算：0円 &lt;<b>基本計画事業</b> <b>行革P</b> <b>その他</b>&gt;</p> <p>(1) 基本計画及び調布市公共建築物維持保全計画に基づき、改修工事等を計画的に実施します。</p> <p>(2) 維持保全担当者連絡会の開催等により、施設管理所管部署との連携強化と維持保全に関する情報の周知を図ります。</p> <p>(3) 施設利用者の安全・安心の確保については、緊急修繕等を含め適切に対応していきます。</p> <p>(4) 調布市公共建築物維持保全計画について、調布市公共施設等総合管理計画や、調布市公共施設見直し方針などを踏まえ、整備方針などの見直しを行い、今年度策定予定の(仮称)公共施設マネジメント計画に統合します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係各課と連携を図りながら、計画的に実施</li> <li>・維持保全担当者連絡会の開催及び庁内報の継続した発行 【会議の予定】 令和2年5月</li> <li>・令和3年度予算編成に向けて、適正な予算確保に取り組む</li> <li>・調布市公共建築物維持保全計画を統合した(仮称)公共施設マネジメント計画の策定</li> </ul>

<p>12 調布市防災対策検討委員会の活用（総合防災安全課）</p> <p>事業予算：0円 &lt;基本計画事業 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>庁内各部が連携・協力して進める防災施策を検討し、推進していくため、調布市防災対策検討委員会を設置（平成26年3月）。</p> <p>令和2年度においても、災害発生時における職員の災害対応能力の向上を目的とした職員向けの防災研修の充実や避難所対策、二次避難所対策、医療救護対策、帰宅困難者対策、物資物流、被災者生活再建支援システムなどの災害対策ごとの作業部会による検討等を通じて、全庁的な連携・協力による災害対応体制の整備に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災対策検討委員会の開催</li> <li>【会議の予定】</li> <li>令和2年4月</li> <li>令和2年8月</li> <li>令和2年10月</li> <li>令和3年1月</li> </ul>
<p>13 防災市民組織の育成（総合防災安全課）</p> <p>事業予算：394万5000円 &lt;<b>基本計画事業</b> 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>地域に根差した防災活動の主体となる防災市民組織の新規結成や育成を推進するため、防災に関する各種講演会や出前講座などの実施、防災備蓄品の提供などによる支援を通して、「自助」「共助」による地域防災力の向上を図ります。</p> <p>また、引き続き、既存防災市民組織及び市民を対象に、これまでの経験や訓練等を踏まえた防災市民組織説明会を開催し、更なる防災市民組織の活動の充実を図ります。</p>	
<p>14 防災備蓄品の確保・充実（総合防災安全課）</p> <p>事業予算：3533万円 &lt;<b>基本計画事業</b> 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>(1) 東京都の被害想定の見直しを踏まえ、緊急医療救護所で使用する医薬品の備蓄を行い、災害時医療体制の充実を図るとともに、引き続き避難所運営を強化するための災害用マンホールトイレや非常用発電機の配備、要配慮者に配慮した防災備蓄品の確保・充実を図ります。</p> <p>(2) 帰宅困難者対策に係る備蓄品等の充実を図ります。</p> <p>(3) 避難所における新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、手指消毒液、マスク等の備蓄品のさらなる充実を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急医療救護所用医薬品の充実</li> <li>・災害用マンホールトイレの配備</li> <li>・非常用発電機の配備</li> <li>・帰宅困難者対策用備蓄の充実</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策備蓄の充実</li> </ul>
<p>15 災害情報システムの維持管理・充実（総合防災安全課）</p> <p>事業予算：3億30万4000円 &lt;<b>基本計画事業</b> 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>(1) 現在設置しているアナログ系防災行政無線は、旧規格適合設備であり、使用期限が令和4年11月末日とされていることから、令和4年12月以降も使用できる新規格適合設備に変更する必要があります。</p> <p>移動系・固定系の防災行政無線について、デジタル化を予定しております。移動系については平成29年度にデジタル化整備（1ヶ年目）を開始し、令和2年度も整備（4か年目）を実施します。（令和2年度完了予定）</p> <p>固定系については令和2年度にデジタル化整備（2ヶ年目）を実施します。（令和3年度完了予定）</p> <p>(2) 市民向けメールシステム、防災フリーダイヤル等の運用を行い、災害時の情報提供・通信システムの多重化に努めます。</p> <p>(3) 災害時に災証明書を迅速かつ円滑に発行するための被災者生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供・通信システムの確保</li> <li>・被災者生活再建支援システム運用</li> </ul>

<p>再建支援システムの維持・管理を行います。</p>	
<p><b>16 消防団の対応能力の向上（総合防災安全課）</b>  <b>事業予算：5727万7000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>(1) 火災・災害時における消防団の対応能力を向上するため、消防資機材や装備品の充実を図ります。また、消防団第6分団及び第13分団の消防ポンプ車を更新します。</p> <p>(2) 消防用具の更新や調布消防署の協力による講習、ポンプ操法大会の実施。また、引き続き、消防団員の災害対応能力の維持・向上に係る体制を確保します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防ポンプ車の更新 2台 (第6分団, 第13分団)</li> <li>・消防団員の災害対応能力の維持・向上</li> </ul>
<p><b>17 消防水利の整備・維持管理（総合防災安全課）</b>  <b>事業予算：1億円45万6000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>災害時に迅速な消火活動が展開できるよう、消火栓の新設・維持管理を行います。また、大規模災害発生時に、水道管の破損等により消火栓が使用できない場合に備え、防火貯水槽を整備し、消火能力の維持・向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防火貯水槽の整備</li> <li>・東京都水道局による消火栓の新設・維持管理委託</li> </ul>
<p><b>18 地域での防犯パトロールの支援（総合防災安全課）</b>  <b>事業予算：268万円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>地域防犯力の向上を図るため、パトロール用品の貸与やボランティア保険の加入補助、自主青色防犯パトロール団体への活動費の一部補助などにより、地域防犯活動の充実と活性化に取り組みます。また、地域や行政、警察署と連携した合同パトロールや防犯指導の実施により、地域の安全は地域で守る機運の醸成に向け取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯指導や合同パトロールの実施</li> <li>・自主防犯活動団体への支援の継続と支援体制の整備</li> <li>・自主青色防犯パトロールの参加団体の増加</li> </ul>
<p><b>19 犯罪抑止対策の推進（総合防災安全課）</b>  <b>事業予算：5671万3000円</b> &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>青色回転灯を装着した2色塗装車による子ども安全・安心パトロール及び夜間安全・安心パトロールを実施します。そのほか、市が管理する街頭防犯カメラの設置を進めます。</p> <p>特殊詐欺対策として、自動通話録音機の貸し出しを継続して実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京王多摩川駅、柴崎駅周辺に街頭防犯カメラを設置</li> </ul>

◆総務部経営の前年度（令和元年度）振り返り

<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な市政情報の提供  市が保有する様々な分野のデータについて、統一的なルールに基づき、二次利用しやすい形式（オープンデータ）での公開を進めました。</li> <li>・適正な公文書管理の推進  公文書の管理・保存に加え、職員に対する研修や説明会を通じて、適正な文書の取扱いを進めました。</li> <li>・人材の確保とやりがいや意欲を高める仕組みづくり  市政を担う人材を確保するとともに、専門性を有する人材の確保と育成の取組として、事務（社会福祉）、育児休業代替任期付職員、新たな分野での特定任期付職員の採用試験を実施し、採用につなげました。また、令和2年からの会計年度任用職員制度の導入に向けた準備を進め</li> </ul>
--

ました。

人事・給与制度の適切な運用として、給与水準や諸手当については、国、東京都や近隣他市の動向を踏まえた適切な見直しを行いました。また、係長職以下を対象とした目標管理型人事評価を新たに導入しました。

・人材育成基本方針に基づく研修の推進

「第2期調布市人材育成基本方針」に基づき各種研修や職場内研修（OJT）の推進のほか、自己研鑽意欲を促進し、職員の職務に対する意識や能力の向上を図りました。

・ワーク・ライフ・バランスの実現と誰もが活躍できる職場環境づくりの推進

「調布市ワーク・ライフ・バランス推進プラン―特定事業主行動計画（第七次行動計画）」や新たに策定した「調布市職員の意識改革・働き方改革推進に関する方針」に基づき、規程の整備を行うなど、時間外勤務縮減及び定時退庁を強化するとともに、多様な働き方を推進しました。

また、女性職員のキャリア形成支援に取り組むとともに、安心して働き続けられるよう、労働安全衛生法に基づくストレスチェックの実施等によるメンタルヘルス対策やハラスメント防止対策等、誰もが活躍できる職場環境づくりを進めました。

・市民参加と多様な主体との連携・協働の推進

市民で構成された調布地域情報化推進協議会での議論を踏まえ、昨年度実施した市民アンケートの結果を基に、市民からの情報発信をテーマに講演会を実施し、多くの参加者を得ました。また、参加者へのアンケート調査を実施しました。

・情報システムの総合的かつ計画的な管理の推進

税総合オンラインシステムの更改に関して、スケジュールに沿って構築作業を実施し、令和元年12月1日にサービスを開始しました。また、情報セキュリティポリシーに基づく、情報セキュリティに関する内部監査を実施するとともに、パソコン利用の多い全職員を対象に情報セキュリティ研修を実施しました。さらに、ハード面のセキュリティ対策として、端末等の機器更新を実施しました。

・マイナンバー制度への対応

行政機関間における情報連携について、継続して安定的な運用を行うとともに、令和元年度の情報連携に関する改正に対応するため、一部業務システムの改修を行いました。また、新税総合システムへの更新に伴い、税関連証明書に係るコンビニ交付サービス導入に向けた構築作業を実施し、令和2年2月からサービスを開始しました。

・多様な契約手法の検討・活用及び入札の不調・中止への対策

プロポーザル方式の見直し検討を図るため、多摩地域の自治体にプロポーザルガイドラインに関する調査を行いました。

また、工事契約における入札の不調・中止への対応では、最新単価を用いて予定価格を算出すること、同時期に発注する同種工事の開札日程を調整すること、繰越明許費等の予算措置を講じて施工時期等の平準化を図ること等の取組を行ったほか、国土交通省の支援による入札契約改善推進事業を活用して施工時期等の平準化に向けた検討を進めました。

・普通財産の有効活用・処分

普通財産の貸付等を行い、有効活用を図るとともに、売却可能な普通財産について売却を行い、歳入の確保に努めました。

・市庁舎の長寿命化等と将来的な更新の検討

市庁舎免震改修工事の適切な事業進捗を図ったほか、市庁舎の長寿命化に向け、適正な維持保全のための工事等を実施しました。また、市庁舎狭あい化対策の検討に取り組み、1階部分のレイアウト変更については免震改修工事の中で先行して実施しました。

市庁舎更新の検討については、令和4年度基金条例制定を踏まえたプロセスを整理し、市庁

舎更新に関する方向性の検討を行いました。

・**庁用車の安全運転・事故防止対策の強化**

正副安全運転管理者会議を開催し、安全運転意識の向上と共有を図るとともに、警視庁安全教育センターが実施する四輪安全運転教室に職員を派遣し、運転技術の向上を図りました。また、庁用車全台にドライブレコーダーを設置し、安全運転意識の向上を図りました。

・**公共建築物の計画的な維持保全等の推進**

市民生活に直接関わる公共建築物の老朽化対策として、調布市公共建築物維持保全計画に基づく計画的な維持・保全の取組を行いました。また、維持保全担当者連絡会を開催する等、施設管理所管部署との連携強化を図りました。

・**安全・安心のまちづくりに向けた取組**

市民の安全・安心の確保に向けて、防犯対策の推進及び災害に強いまちづくりのための地域防災体制の充実並びに消防力や危機管理体制の強化に取り組みました。

令和元年台風19号の教訓を踏まえた災害対策の検討及び取組、被災者支援の充実に努めました。

◆前年度の主要な事務事業の取組状況等

事業の名称と取組内容	達成状況・課題等
<p>1 適正な公文書管理の推進（総務課） 事業予算：206万円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>(1) 文書管理システムの安定的な運用</p> <p>(2) 歴史資料の修復・公開</p>	<p>・文書管理システムの安定的な運用を実施しました。</p> <p>・歴史資料の修復・デジタル化、公開資料の充実に取り組みました。</p>
<p>2 人材の確保・育成と意欲の向上（人事課） 決算見込額：2810万6000円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>(1) 人材の確保とやりがいや意欲を高める仕組みづくり ア 市政を担う人材の確保 イ 専門分野における人材の活用 ウ 会計年度任用職員制度の導入準備 エ 人事・給与制度の適切な運用・改善</p> <p>(2) 人材育成基本方針に基づく研修の推進 ア 第2期調布市人材育成基本方針に基づく各種研修の推進 イ 各職場におけるOJTの促進 ウ 自己研鑽意欲の促進</p>	<p>・事務（社会福祉）、育児休業代替任期付職員のほか、新たな分野での特定任期付職員の採用試験を実施し、採用につなげました。</p> <p>・職員のやりがいや意欲を高めるため、係長職以下への目標管理型人事評価を導入しました。</p> <p>・庁内公募制を継続実施しました。</p> <p>・チューター制度を運用しました。</p> <p>・「方針」に基づき、各種研修を実施しました。</p> <p>・自己研鑽意欲の促進を図りました。</p>
<p>3 誰もが活躍できる職場環境づくり（人事課） 決算見込額：1847万2000円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>(1) ワーク・ライフ・バランスの実現と誰もが活躍できる職場環境づくりの推進</p>	<p>・「調布市職員の意識改革・働き方改革推進に関する方針」を策</p>



<p>ア 多様な働き方（変則勤務や在宅勤務型テレワーク）の推進</p> <p>イ 時間外勤務縮減及び定時退庁の推進</p> <p>ウ 女性職員の活躍推進に関する取組の推進</p> <p>エ 安心して働き続けられる職場環境づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休業代替任期付職員の採用等の継続，職場復帰（プレワークینگママ）セミナー，女性の健康管理セミナーの実施</li> <li>・ハラスメントのない職場づくりの推進</li> </ul>	<p>定し，ワーク・ライフ・バランスの実現を図る各種取組を強化しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性職員のキャリア形成支援等を継続実施しました。</li> <li>・メンタルヘルス・ハラスメント防止対策を継続実施しました。</li> </ul>
<p>4 マイナンバー関連システムの運用（情報管理課）</p> <p>決算見込額：4593万5654円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>マイナンバー関連システムについて，継続して安定的な運用を行うとともに，令和元年度の情報連携に関する改正に対応するため，一部業務システムの改修等を行いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバー関連システムの安定的な運用を行いました。</li> <li>・一部業務システムの改修等を行いました。</li> </ul>
<p>5 情報セキュリティ強化対策の実施（情報管理課）</p> <p>決算見込額：1億5650万5117円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>東京都セキュリティクラウドを経由したインターネット接続環境の安定的運用に加え，OSサポートが終了する庁内OA端末等を更新し，情報セキュリティ研修の確保に努めました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全員を対象に情報セキュリティ研修を実施しました。</li> <li>・情報セキュリティに関する内部監査を実施しました。</li> </ul>
<p>6 住民票等コンビニ交付システムの構築（情報管理課）</p> <p>決算見込額：3094万2724円&lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>平成30年8月にサービスを開始したコンビニ交付システムについて，継続して安定的な運用を行うとともに，新税総合システムへの更新に伴い，税関連証明書に係るコンビニ交付サービス導入に向けた構築作業を実施しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年2月に税関連証明書のサービスを開始しました。</li> </ul>
<p>7 税総合システム等更改事業（情報管理課）</p> <p>決算見込額：7980万7140円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>新税総合システムについて，スケジュールに沿って構築作業を実施し，令和元年12月にサービスを開始しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年12月にサービスを開始しました。</li> </ul>
<p>8 多様な契約手法の検討・活用及び入札の不調・中止への対策（契約課）</p> <p>決算見込額：17万7000円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>(1) 行革プラン2019に基づく，多様な契約手法の検討・活用</p> <p>(2) 入札・契約制度の適正な運営維持，向上のための取組</p> <p>(3) 主管課契約における契約事務の適正性及び効率性の確保を図るための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩地域の自治体のプロポーザルガイドラインについて調査しました。</li> <li>・入札等監視委員会の審査結果を踏まえ，適正な事務執行を行いました。</li> <li>・契約及び検査事務推進連絡会を開催し，委託業務の適正な進行管理や消費税率改定に伴う事務</li> </ul>

<p>(4) 公契約条例の情報の収集・検討</p> <p>(5) 入札の不調・中止への対策，市内建設業団体及び商工会との意見交換会の実施</p>	<p>処理等について，周知を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他自治体の制定状況の確認等情報収集を行いました。</li> <li>・入札の不調・中止対策として，最新単価による積算や国土交通省支援事業を活用した施工時期等の平準化に向けた取組を実施しました。また，市内3つの建設業団体や商工会との意見交換会を行いました。</li> </ul>
<p>9 普通財産の有効活用・処分（管財課）</p> <p>決算見込額：99万57円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>(1) 有償貸付等による有効活用を図ったことに加え，普通財産2か所を売却しました。</p> <p>(2) 普通財産の適正管理を図りました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有償貸付等による有効活用を図ったことに加え，普通財産2カ所を売却しました。</li> <li>（普通財産売却に伴う測量委託）</li> <li>・普通財産の適正管理</li> <li>（樹木等管理業務委託）</li> </ul>
<p>10 市庁舎の長寿命化等と将来的な更新の検討（管財課）</p> <p>(1) 市庁舎免震改修工事の実施</p> <p>決算見込額：11億1247万5727円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>平成30年度に引き続き市庁舎免震改修工事を実施しました。</p> <p>(2) 市庁舎の長寿命化等の視点を踏まえた維持保全の検討，実施</p> <p>決算見込額：8890万4400円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>基本計画公共建築物維持保全等一覧に基づく維持保全を適正に行うとともに，市庁舎狭あい化対策についても取組を進めて参りました。</p> <p>(3) 市庁舎更新に関する方向性の検討</p> <p>決算見込額：0円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>更新後の市庁舎に必要な機能，事業手法等の市庁舎更新に向けた課題を整理し，令和4年度基金条例制定に向けた方向性について検討を進めて参りました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市庁舎免震改修工事（市庁舎免震改修工事，免震改修工事監理業務委託）</li> <li>令和2年3月末進捗率 97.58%</li> <li>・公共建築物維持保全等一覧に基づく維持保全工事等の実施</li> <li>市庁舎非常用発電設備更新工事（繰越）</li> <li>市庁舎防災設備改修工事</li> <li>立体駐車場昇降部機械部品更新業務委託</li> <li>・市庁舎更新に関する方向性の検討（やるべきことの整理）</li> </ul>

<p>11 庁用車の安全運転・事故防止対策の強化, 車両等の管理 (管財課)  決算見込額: 4051万676円円 &lt;基本計画事業 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>(1) 正副安全運転管理者会議を開催し, 安全運転意識の向上と共有を図りました。</p> <p>(2) 庁用車全台にドライブレコーダーを設置しました。</p> <p>(3) 警視庁安全教育センターが実施する四輪安全運転教室に職員を派遣し, 運転技術の向上を図りました。</p> <p>(4) 貸出車両及び庁用のバス等の適正な運行管理を図りました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正副安全運転管理者会議を開催しました。</li> <li>・庁用車全台にドライブレコーダーを設置しました。</li> <li>・四輪安全運転教室に職員を派遣しました。(15組30人)</li> <li>・貸出車両及び庁用のバス等の適正な運行管理を図りました。</li> </ul>
<p>12 公共施設の総合的な管理の推進 (営繕課)  決算見込額: 0円 &lt;<b>基本計画事業</b> 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>(1) 調布市公共建築物維持保全計画に基づく工事及び既存施設の老朽化対応の中でも早急な対応が必要な工事を発注し, 建物及び設備の長寿命化を図るとともに, 一部の施設で改良保全を行いました。</p> <p>(2) 維持保全担当者連絡会の開催等により, 施設所管部署との連携強化と維持保全に関する情報の周知を図りました。</p> <p>(3) 施設利用者の安全・安心の確保に対応すべく, 単価契約の項目を追加・修正するなど, 緊急修繕等への対応強化を図りました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係各課と連携を図りながら予定していた工事等を発注しました。</li> <li>・維持保全担当者連絡会を開催しました(令和元年5月24日に実施)。</li> <li>・維持保全だよりを発行しました(令和元年6月・令和2年1月・3月の計3回)。</li> <li>・建築工事における単価契約の項目を追加しました。</li> </ul>
<p>13 災害情報システムの維持管理・充実 (総合防災安全課)  決算見込額: 1831万3000円 &lt;<b>基本計画事業</b> 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>移動系・固定系の防災行政無線について, デジタル化を推進しています。また, 緊急医療救護所となる病院との連携強化を図るため, M C A無線を活用した訓練を実施しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動系 (令和2年度完了予定) ・</li> <li>・固定系 (令和3年度完了予定) の</li> <li>・防災行政無線のデジタル化</li> </ul>
<p>14 調布市防災対策検討委員会の活用 (総合防災安全課)  決算見込額: 0円 &lt;基本計画事業 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>複数部署が関連する防災に関する課題について, 個別の計画や具体的な実施方法等について検討し, 全庁的あるいは各部が協力して, 防災に関する具体的な実施体制の整備を図りました。</p> <p>また, 職員を対象とした防災研修・避難所運営研修・帰宅困難者対策図上訓練の提案・企画など様々な提言をいただき, 防災施策に反映させました。帰宅困難者部会では, 帰宅困難者対策協議会を開催しました。二次避難所部会では, 二次避難所運営訓練を実施しました。医療救護部会では, 緊急医療救護所運営訓練を実施しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会開催</li> <li>平成31年4月</li> <li>令和元年7月・12月</li> <li>令和2年1月の計4回</li> <li>・作業部会</li> <li>①医療救護部会</li> <li>②避難所部会</li> <li>③二次避難所(福祉避難所)部会</li> <li>④帰宅困難者対策部会</li> <li>・職員防災研修会</li> <li>令和元年7月・11月実施</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所運営研修 令和2年3月実施</li> <li>・緊急医療救護所運営訓練 令和元年6月・12月</li> </ul>
<p>15 防災備蓄品の確保・充実（総合防災安全課） 決算見込額：2611万1000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>小学校に2基目となる防災備蓄コンテナの配備を進めるため、平成31年度は小学校1校にコンテナを設置しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校への2基目の備蓄コンテナの配備 1箇所（緑ヶ丘小）</li> </ul>
<p>16 常備消防力の維持・向上（総合防災安全課） 決算見込額：1632万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>(1) 東京消防庁及び東京都と連携・協力し、常備消防力の維持・向上を図るため、老朽化した施設の整備を推進しました。 (2) 調布消防署本署の建替えに伴う仮設用地を賃借しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調布消防署本署建替え完了（令和元年11月落成）</li> </ul>
<p>17 地域での防犯パトロールの支援（総合防災安全課） 決算見込額：230万1000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>地域の自治会や商店街、PTAなどの防犯活動団体等に対するパトロール用品や防犯啓発用品の貸与による活動支援のほか、地域団体と行政との合同防犯パトロールを実施しました。また、自主青色防犯パトロール団体に対し、その活動費の一部を補助することで活動を支援しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年末年始に21の防犯パトロール団体と合同パトロールを実施</li> </ul>
<p>18 安全・安心パトロールの実施（総合防災安全課） 決算見込額：4730万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>青色回転灯を装着した青色2色塗装車による市内全域の夜間安全・安心パトロール及び下校時の児童・生徒の安全確保のため学校周辺や通学路を中心に子ども安全・安心パトロール実施しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み期間に子ども安全・安心パトロールを実施</li> </ul>